

会議抄録

1 開会

2 会長挨拶

※増子会長より挨拶

3 議事

(1) 報告事項

ア 第2期多賀城市子ども・子育て支援事業計画の達成状況の評価について

※事務局より資料2「多賀城市子ども・子育て支援事業計画の達成状況について」に基づいて説明

【質疑・意見交換等の内容】

※質疑・意見交換等なし

会 長：それでは、「多賀城市子ども・子育て支援事業計画の達成状況について」は、原案通りに承認することよろしいでしょうか。

一 同：はい。

(2) 審議事項

ア 第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画にかかる「量の見込み」の算出について

※事務局より資料3「第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画にかかる「量の見込み」について」、資料4「第3期多賀城市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に基づいて説明

【質疑・意見交換等の内容】

委 員：今年6月に実施したアンケート調査について、回答者数を伺いたい。

事務局：就学前児童と小学生、それぞれの保護者向けのアンケート調査を実施しており、回答者数は資料4の23ページに記載のとおり、就学前児童保護者の配布数2,291件に対して回収数が1,337件で回収率は58.4%、小学生保護者の配布数2,109件に対して回収数が1,192件で回収率は56.5%となっている。

会 長：アンケート調査の回収状況について、今後作業を進める計画（案）には、郵送とWeb回答の内訳も記載をお願いしたい。

事務局：そのように対応させていただく。

委員：資料3の20ページに記載の「一時預かり事業【幼稚園型以外】」と24ページの「地域子育て支援拠点事業」について、令和6年度の数値と令和7年度のものが大きく離れているという印象である。なぜ数値がここまで離れているのか、理由を教えてください。

事務局：ご指摘の2事業については、令和6年度の実績値が未確定の事業となるため、第2期計画の計画値をそのまま転記している。おそらく令和6年度の実績も、令和5年度の実績に近い数字になるものと見込んでいる。

委員：資料4の3ページ「計画の推進にあたって」の項目に、「継続的に点検・評価見直し（PDCAサイクルの実践）」と記載があるが、その頻度はどの程度か。1年に1回の点検・評価では足りないのではないかと考えている。

事務局：現在の頻度としては、1年に1回となっている。子ども・子育て会議の中で、年度毎の実績を報告させていただき、見直しが必要となるものは計画変更が認められているため、今後も同様のサイクルで評価をしていきたいと考えている。

委員：子育て短期支援事業について、資料2の事業説明には「保護者の疾病等の理由により」と記載があり、資料4には「支援・相談中の家庭において」とあるが、事業の対象はどういった世帯となるのか。育児疲れから虐待等につながっている例もあるように感じているため、利用条件があるのか、誰でも利用できるものなのか教えていただきたい。

事務局：子育て短期支援事業の受入れ先は幅広いわけではなく、児童養護施設や里親をしている方の家となるため、利用することに抵抗感があることも考えられる。保護者のリフレッシュや母子分離した方がよい事例はあると考えているため、宿泊まで想定したものではないが、新規事業の児童育成支援拠点事業が「第3の居場所」と呼ばれるもので、養育環境に問題を抱えている家庭等はここで支援していきたいと考えている。

会長：ヤングケアラーについて、市はその数を把握しているのか。

事務局：今年6月に子ども・子育て支援法の一部が改正となり、ヤングケアラーへの支援が法的に定められた。これを受けて本市でも対応を検討中であるが、国から示された支援策に基づき、まずは数の把握を行うため、個別かつ記名式での調査等を実施するための準備を進めている。

委員：こども計画の策定について、自治体によっては、第3期子ども・子育て支援事業計画と一体的に策定しているようである。多賀城市では、こども計画の策定についてどのように考えているのか。

事務局：子ども・子育て支援事業計画については、法定で5年毎に策定するものとなっているため、第3期については今年度末の策定に向けて作業を進めている。こども計画の策定は努力義務となっており、市町村は県のこども計画を参酌して策定するものとされているため、来年度から策定作業に着手したいと考えている。こども計画は大変幅広い計画になる他、こども達の意見聴取も行うため、2年間の策定作業を予定している。また、母子保健や不適切な養育に精通している方を、子ども・子育て会議の委員として新

たに委嘱することも検討しながら進めたい。

会 長：委員の方から全体を通じてご要望や感想などいただきましたが、一旦議事はこれで終了させていただいて、本日の議事に関するご意見や感想をいただきたいと思います。

委 員：集計等大変だったと思います。ありがとうございます。

委 員：私自身子どもが2人いて、小学生で児童クラブを利用している状況なので、自分のことも考えながらどんな会議になるのかイメージを膨らませながら臨ませてもらいました。児童館の利用は親にとってすごく助かりますし、どう整備されていくかを踏まえながら進められているのだと改めて実感させてもらいながら感謝の気持ちを持ったところです。少しでも多賀城市に寄与できればと思っておりますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

委 員：教育相談等を担当しておりいろいろ相談を受けるのでここで新規事業等の情報をいただけるとありがたいと思っています。相談の中に、不登校で居場所がない、児童クラブにも人間関係のトラブルで行けず母親が悩んでいたケースや自殺をする案件もあり、その対応に私のキャパでは足りず関係機関に応援を依頼し保健師さん等に入ってもらい対応している状況なのでここで情報を得られるのがありがたいです。新たに連携してますます取り組んでいかなければいけないと思います。小中のお子さんの関わりはある程度学校や教育委員会で対応しますが、自殺の案件は高校の生徒さんで、そういった悩みがきたときに皆さんと連携しながら進めていかなければならないなと思っています。

委 員：まずはこのような子どもたちに関わる貴重な会議に参加させていただいてありがとうございます。私は放課後こども教室天真小学校でコーディネーターをやっているのですが、暴言をすごく吐くお子さんがおり、お話を聞くと「僕は学校でも家庭でもすごく頑張っている、自分のストレスをどこで発散すればいいんだ」ということをおっしゃるお子さんがいて、まだ1年生の子どもがいろんなストレスを抱え、唯一の発散できる場所がこのわくわく広場なのかなと思ういろいろな思いがありまして、そうゆうお子さんたちがたくさんいらっしゃるのだと思います。城南小学校のお子さんなのですが、不登校で、でもわくわく広場には行きたいというお子さんがおり、その保護者の方にスタッフとして天真小に親子でいらしてくださいということで受け入れると、「今まで学校行ってなかったのがここ3週間学校行けています」などのうれしい言葉をいただきました。やはり子どもにとって居場所づくりというのは大切だと思います。ぜひ多賀城市で子どもたちの居場所を増やして行ってほしいと思います。

委 員：少子化と言われる現在、子育てについてしっかりした施策が求められている中で、このような詳細な資料を作る行政の方々のご苦勞を垣間見ることができました。資料3の5ページで、今後5年間の児童人口の推計が現状維持または若干増加という推計をされていて、まだまだ多賀城市の勢いを感じるなと思いました。

委 員：私自身小学生の子どもが2人おりまして、昨年度あたりから小学校の学区改編に関するアンケート調査が市からあり、少子化と言われる中でもやは

り学校の地区単位ですごく人数にバラつきが出てきている中での学区改編、中学校の方もどうなるのかそのアンケートも先日きたばかりで、アンケートはいただくがその先がどう変わっていくのが見えない状態のアンケートがたくさんくるので、私の家はどっちの学区になるんだろう等不安に思っている方がすごく周りに多いです。この先どうなっていくのか目安みたいなものを知る機会があったら嬉しいなと感じておりました。児童クラブの利用率をみると、山王小学校が雨マークで、人数が増えている地区なので対応が難しいとは思いますが、学校ごとに同じサービスが受けられるような制度が整ってくるといいのかなと感じております。

委員：この間の新聞報道で、住みたいまちというのが出ており、多賀城市はベスト10入りしていなかったのが残念だなと思いました。多賀城は東北本線・仙石線もあり交通の便が良く、病院も近い、学校も近い、市の方でこんなに子育て支援を頑張っている中で住みたいまちベスト3ぐらいに入らなのが非常に残念です。もう少しSNSを使って発信していただければなと思います。多賀城に住みたいと思っている若者がたくさんいると思いますので、住みたいまち1位を目指して頑張っていただければと思います。

委員：数十年にわたり子ども会活動をしており、地域の活性化のためには子ども会に参加してもらうことが非常に大事だと思います。皆さんにいいことは、子どもたちを遊ばせてやってください、子ども会活動を活性化させてくださいということです。

委員：0・1・2歳児小さなお子さんをお預かりしていますが、卒園生から、入学や卒業の際などご挨拶をいただきます。卒園後の同窓会のようなことをしており、子どもの居場所づくりになっていると思います。

委員：親を支えるということをいろいろな形で考えていただいているところですが、多賀城駅周辺に集中してしまうと利用しにくい地区も出てくるので、さらに利用しやすいものになるように場所についても考えていただけたら嬉しいなと思います。西部地区の人口増がありますので、量の見込みについてエリア別で算出していただけるとより具体的なものになると思います。多賀城市は他の市町と比べるとならし保育の時間が短くゴールデンウィーク明けに育休復帰しなければなりません、仙台市では2か月ということで、その辺保護者の立場にたって考えていただけると嬉しいなと思います。

委員：教育・保育の質の向上で、幼稚園教諭や保育士の研修の充実について、非常に大事だなと思っております。やはり実際に子どもと接する職員がある程度の研修を積んで、実務に活かしていかなければどんなに素晴らしい施策があってもうまくいかないかなと思っております。しかし、園の事情があってなかなか研修に参加できないという声もあります。経験年数に応じてどういったことを身につけていかなければならないか、育成指導をきちんと示して体系的に研修を行うことが必要なのかなと考えております。

会長：皆様からのいろいろなご意見いただきましたので、ぜひ今後の多賀城市の子ども・子育て政策の参考にしていただければと思います。それでは以上で本会議における議事は全て終了いたしました。

4 その他

※なし

5 閉会
